

学び交流の2日間に

9月27日～28日は予定空けておいて！

演題募集は4月から

3月13日、第5回実行委員会がありました。企画の中身や演題募集なども話し合われ、詳細はホームページに掲載しています。



本番開催まで半年。会議にも気合いが入る。

グループでアイデア出し合う



この日はグループで話し合い。第1日目には「受付で地元名産品をプレゼントしよう」という意見や、夕食懇親会に「歓迎イベントはボランティアさんの出し物がいいかも」などの意見が出されました。「う～ん」と考え込む委員の横から、「こうしたらどうかな」とアドバイスが入る姿も。実行委員会を重ねるごとに、懇話会の細かな部分が決まってきました。

演題テーマは15から選んで

演題は15のテーマから選んでもらうことになりました。今回は口演とポスターセッ

ション合わせて約130演題を募集し、参加者は聞きたい演題を自由に選んで移動できるようになります。

開催要項(第1報)はホームページに掲載されており、4月1日から演題募集が始まります。また、ホームページでは随時最新情報を掲載



しており、ポスターもダウンロードできます。

懇話会開催まで、あと半年。みなさんのご参加と実践報告を、心からお待ちしています。

岡山でプレ企画、機運上げる

現地岡山県連では4月27日(土)、プレ企画「認知症診療・ケアの今後の展望と予防」を開催します。講師は認知症予防の第一人者として有名な浦上克哉先生(鳥取大医学部教授)です。

当日は民医連職員のほか、学生、共同組織の方も参加予定です。認知症ハンドブックの学習と合わせて、岡山でも認知症に対する機運を上げているところです。

テーマ「ありのままの自分を受け入れて欲しい～本人の想いが実る認知症の人にもさしいまちづくり～」